

# Cintiq<sup>®</sup> 24HD touch

interactive pen display

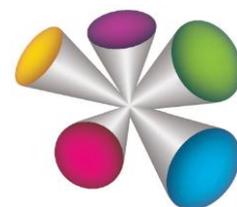


## Display Control Software

ディスプレイコントロールソフトウェア

## ユーザーズガイド

wacom<sup>®</sup>



# 目次

ご注意	3
対応機種	4
システム要件	4
1.メニュー説明	5
1-1.Picture Mode	5
1-1-1.ディスプレイの接続確認	7
1-2.PIP	8
1-3.色覚エミュレーション	9
1-4.ディスプレイ設定	9
1-5.状態	10
2.画質設定ウィザード	11
2-1.画質設定の選択または画質のカスタマイズ	11
2-2.輝度と黒レベルの調節	12
3.カスタマイズ	12
3-1 フルカスタム	13
3-2ICCプロファイルエミュレーション	16
3-3 印刷エミュレーション	19
4.Display Control Software のエラーメッセージ	23

- この取扱説明書は Display Control Software について説明しています。  
ご使用の際は対応機種の手取扱説明書も合わせてお使いください。

## ご注意

- Display Control Software は Picture Mode の選択、カスタム設定時に、OS の ICC プロファイル設定を自動的に更新します。その後、ディスプレイのメニューから PictureMode 選択などの操作を行った場合には、OS の ICC プロファイル設定との関連性が失われる場合があります。そのため、Display Control Software による画質設定後に Picture Mode の選択などをおこなう場合は、ディスプレイのメニューからでなく、Display Control Software による操作を推奨します。
- Display Control Software をお使いの場合には、ICC プロファイルを使用する可能性のあるアプリケーションを一旦終了してください。ICC プロファイルの保存ができないことがあります。(OS 側の色設定やカラーマネジメント対応アプリケーション)
- Display Control Software 使用中はディスプレイの電源 OFF/ON などをしてしないでください。万が一 Display Control Software 使用中にディスプレイの電源を OFF/ON するなどをしてディスプレイに不具合が発生した場合は、ご使用のディスプレイの手取扱説明書を参照し、アドバンスメニューにある FACTORY PRESET を実行してください。ただしその場合、お客様が記憶させたデータは初期状態に戻ります。
- インストール時、Microsoft Visual C++ 2005 SP1 がインストールできない場合があります。この場合、ユーザー名が英数字だけのユーザーアカウントなどでログインしなおすとインストールできることがあります。
- Display Control Software の操作画面が表示範囲外に移動した場合、Display Control Software のタスクバーボタンを右クリックして任意の場所に移動してください。
- Display Control Software で画質設定を実施した場合、ECO モードと Auto Brightness の機能が無効になります。
- Display Control Software の起動中に信号ケーブルの差し替えなどは行わないようにしてください。強制的にアプリケーションが終了したりすることがあります。
- 本バージョンのソフトウェアは Intel CPU の Mac のみ対応します。もし PowerPC をお使いの場合、旧バージョンをお使いください。

## 対応機種

・Display Control Software は弊社、日本国内向け下記モデルについてサポートしています。

・Cintiq 24HDT

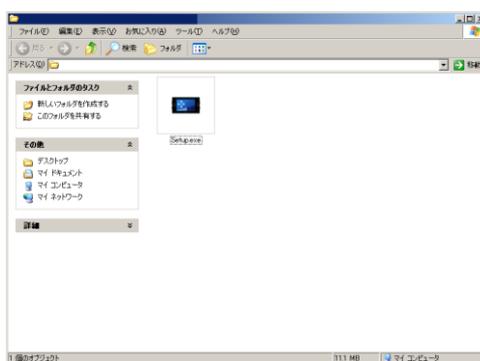
24 型液晶ペンタブレット

## システム要件

OS	Windows: Windows XP ,Windows Vista, Windows 7, Windows8 MAC: OS10.5 以降の Mac OS (Intel CPU の Mac のみ)
色数	最大 32bit カラー
解像度	各ディスプレイの推奨解像度をお使いください

Display Control Software をインストールするには管理者権限のアカウントが必要です。

フォルダ内の Setup.exe を起動してください。



Windows 版のインストール場所は、起動ドライブが C:の場合の保存場所例は C:\Program Files\Wacom Display Management\Display Control Software になります。

Mac 版の場合、フォルダ内の実行ファイルから Display Control Software を起動してください。



## 1.メニュー説明

Display Control Software は操作画面左側のメニューバーから機能を選択することでディスプレイの設定をおこなうことができます。



1	Picture Mode	画質にかかわる設定をおこないます→P5
2	PIP	子画面機能にかかわる設定をおこないます→P8
3	色覚エミュレーション	色覚特性の表示にかかわる設定をおこないます→P9
4	ディスプレイ設定	画質設定以外の設定をおこないます→P9
5	状態	ディスプレイとアプリにかかわる情報を表示します→P10

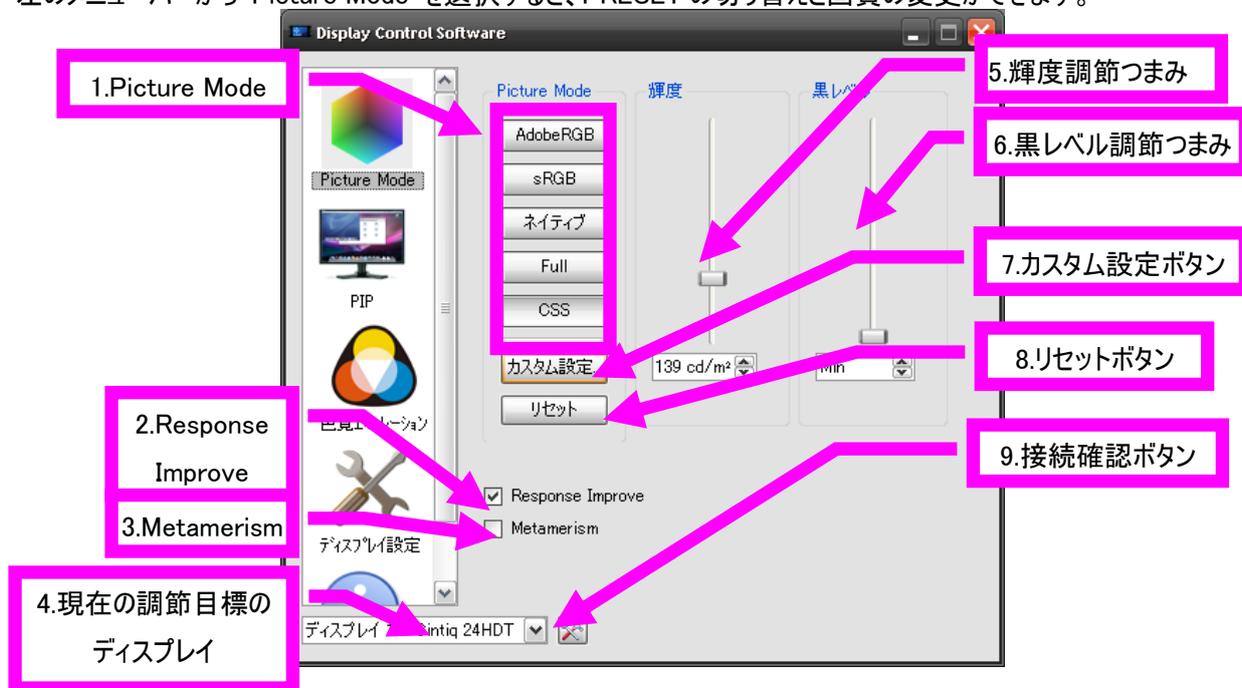
印刷物の色味の再現など、Display Control Software は対応ディスプレイの画質設定を拡張することができます。またコンピューターの画質設定をディスプレイの画質設定と一致するよう自動的に管理することができます。

画質設定のうち、フルカスタム/ICC プロファイルエミュレーション/印刷エミュレーションの設定については、P13 以降を参照ください。

以下にそれぞれの機能について説明をおこないます。(画面は Windows 版のものです)

### 1-1.Picture Mode

左のメニューバーから”Picture Mode”を選択すると、PRESET の切り替えと画質の変更ができます。



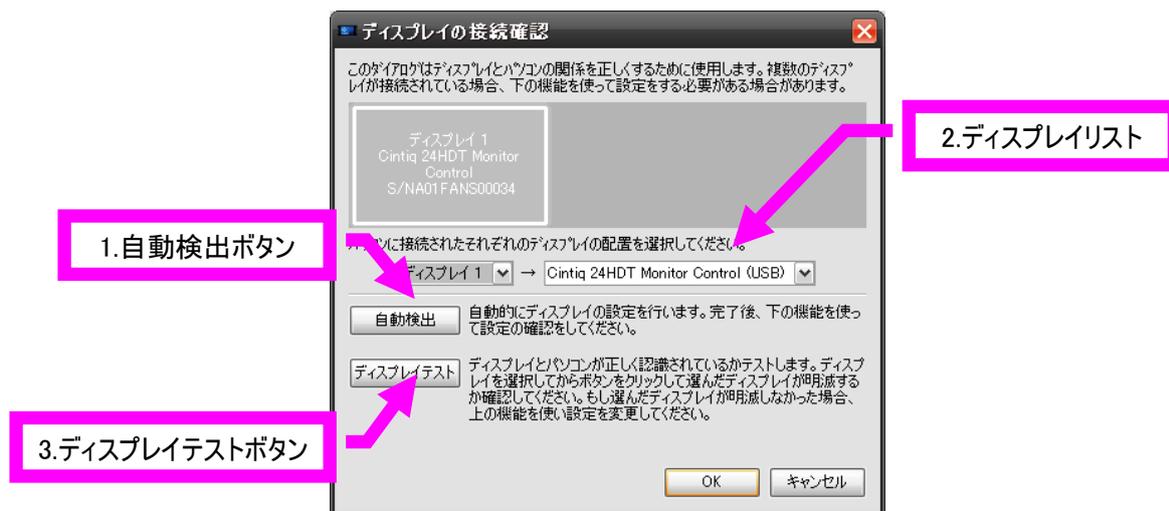
次ページに続く

1. Picture Mode	sRGB, Adobe®RGB, DCI, REC-BT709, DICOM, High Brightness, Full またはカスタマイズされた画質設定に切り替えます。(→ P11 2 項.画質設定ウィザード参照) – 同時に設定された画質設定により、ICC プロファイルを生成、保存します。
2. Response Improve	機能を ON にすると、液晶ディスプレイの中間調応答速度が向上します。動画表示時における残像感を低減させることができます。
3. Metamerism	機能を ON にすると、測定器で白色点の測定結果が同じでも見た目が異なる現象を改善し、他のディスプレイとの白色マッチングを改善します。数値を重視して調節する場合は機能を OFF にしてください。
4. 現在の調節目標のディスプレイ	現在調節目標となっているディスプレイが表示されます。複数台接続している場合、調節するディスプレイを選択することができます。
5. 輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。設定が反映されるまで多少の時間が必要です。 高輝度の設定の場合、画質設定や経時変化により、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。輝度を低く再設定していただくか、画質設定を変更してお使いください。 Display Control Software で画質設定を実施した場合、ECO モードと Auto Brightness の機能が無効になります。
6. 黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。設定が反映されるまで多少の時間が必要です。
7. カスタム設定ボタン	現在表示されている PictureMode をお好みの状態に変更するときに押すとカスタム設定画面を表示します。(→ P11 2 項.画質設定ウィザード参照) 工場出荷設定以外にフルカスタム/ICC プロファイルエミュレーション/印刷エミュレーションの設定がおこなえます。
8. リセットボタン	選択されている画質設定を工場出荷状態にリセットします。
9. 接続確認ボタン	ディスプレイの接続確認の画面が表示されます。Display Control Software のインストール後にシステム変更を行ったとき、ディスプレイの認識が誤っていないかを確認できます。(→ P7 1-1-1 項ディスプレイの接続確認参照)

操作画面の上端を左クリックすると下方向に、左端を左クリックすると右方向に操作画面が移動します。

起動時にはカーソルはカスタム設定が選択されています。(ボタン色が青色)

## 1-1-1.ディスプレイの接続確認



接続確認ボタンをクリックすると、ディスプレイの接続確認の画面が表示されます。

もし複数のディスプレイを使用しているにもかかわらずディスプレイ選択ウィンドウの表示と異なっている場合にはディスプレイの設定や構成を確認してください。

画面の青い「ディスプレイ」をクリックするとディスプレイリストに選択されたディスプレイが表示されます。

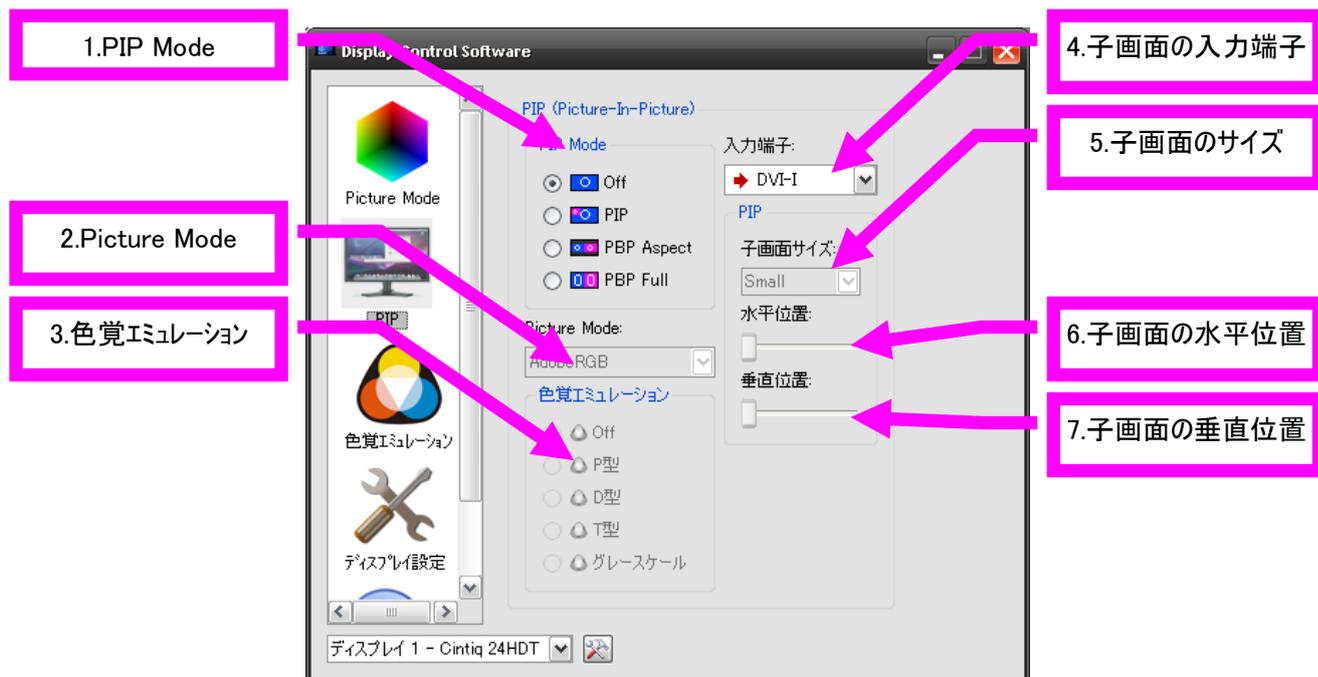
1.自動検出ボタン	自動的にディスプレイを検出してウィンドウ上に配置します。
2.ディスプレイリスト	選択されているディスプレイが表示されます。
3.ディスプレイテストボタン	ディスプレイとコンピューターが正しく認識されているかテストします。ディスプレイを選択してからボタンをクリックしてください。選択したディスプレイの電源ランプが青、緑に交互に点滅します。もし選択したディスプレイが明滅しなかったら、上の機能を使って設定変更してください。

(注意)ディスプレイの設定(クローン設定やパン設定など)により、ディスプレイを正しく認識できないことがあります。

この場合、一旦 Display Control Software を終了してディスプレイの設定をディスプレイの独立設定にいただき、Display Control Software を再起動してください。

## 1-2.PIP

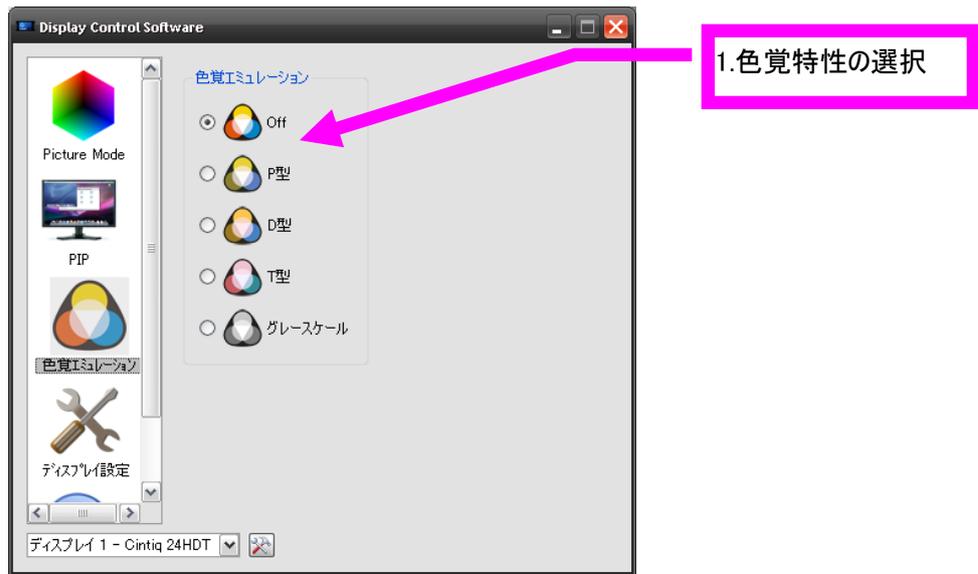
左のメニューバーから”PIP”を選択すると、子画面機能の設定ができます。



1.PIP Mode	ピクチャーインピクチャー表示を行い、子画面の設定ができます。
PIP	通常画面内に子画面を表示する機能です。 PICTURE IN PICTURE
PBP Aspect	親画面と子画面を等分し、縦横比を変えずに表示する機能です。 PICTURE BY PICTURE ASPECT
PBP Full	親画面と子画面を等分し、画面いっぱいに表示する機能です。 PICTURE BY PICTURE FULL
2.Picture Mode	子画面の Picture Mode の設定ができます。
3.色覚エミュレーション	P 型、D 型、T 型、グレースケールの中から色覚の特性を選択することができます。 親画面と同じ Picture Mode を選択している場合、機能しません。
4.子画面の入力端子	子画面の入力に使用する入力端子を選択することができます。
5.子画面のサイズ	PIPが選択されているとき、子画面のサイズをSmall, Middle, Largeから選択することができます。
6.子画面の水平位置	PIP が選択されているとき、子画面の表示場所をつまみで水平移動することができます。
7.子画面の垂直位置	PIP が選択されているとき、子画面の表示場所をつまみで垂直移動することができます。

※ディスプレイにより、子画面の設定ができない入力端子があります。詳しくは対応機種の取扱説明書をご確認ください。

### 1-3.色覚エミュレーション

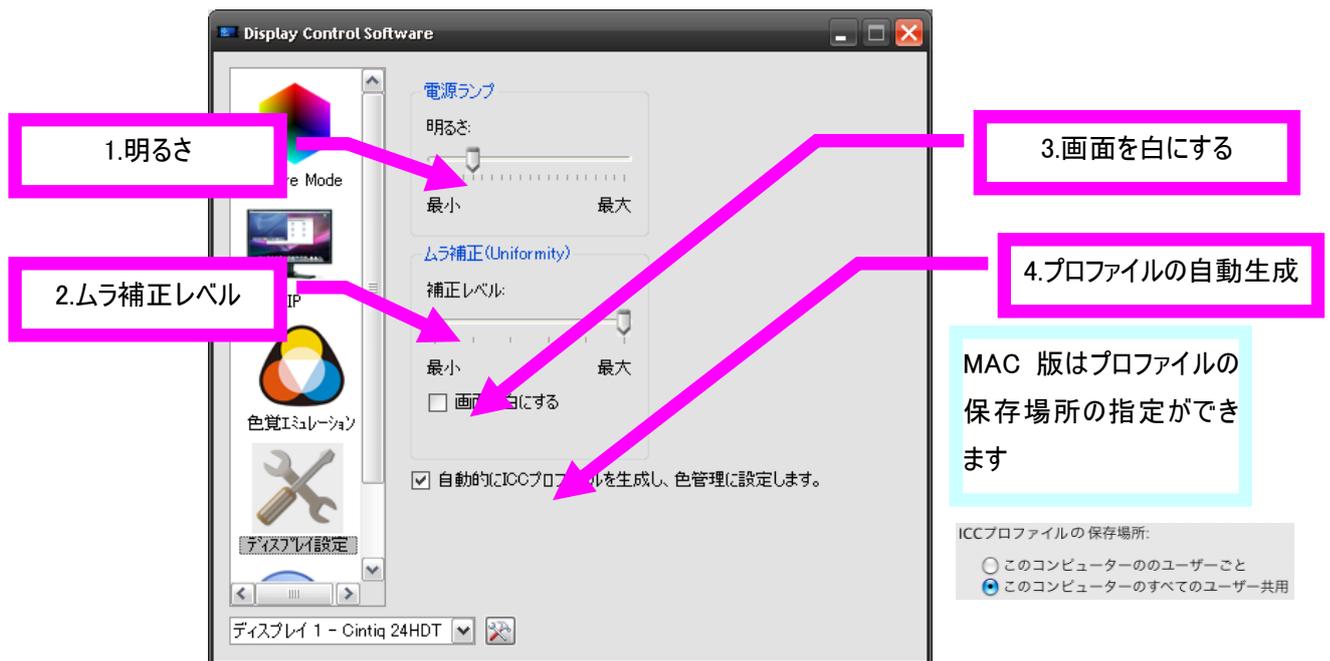


#### 1.色覚エミュレーション

P 型、D 型、T 型、グレースケールの中から色覚の特性を選択することができます。

### 1-4.ディスプレイ設定

左のメニューバーから”ディスプレイ設定”を選択すると、画質設定以外の設定ができます。



1.明るさ	電源ランプの明るさを調節することができます。
2.ムラ補正	ムラ補正 (Uniformity) のレベルを調節することができます。
3.画面を白にする	画面全体を白で表示します。元に戻るには Esc キーか左上の X ボタンを押します。
4.プロファイルの自動生成	Display Control Software で画質設定を変更したときに、ICC プロファイルを自動生成して OS の Color Management System に割り当てます。Display Control Software で画質変更した後、OSD からの画質設定をおこなうとプロファイルとの関連性が一致なくなることがあります。

## 1-5.状態

左のメニューバーから”状態”を選択すると、各種の情報を確認することができます。



1.画質設定の再同期

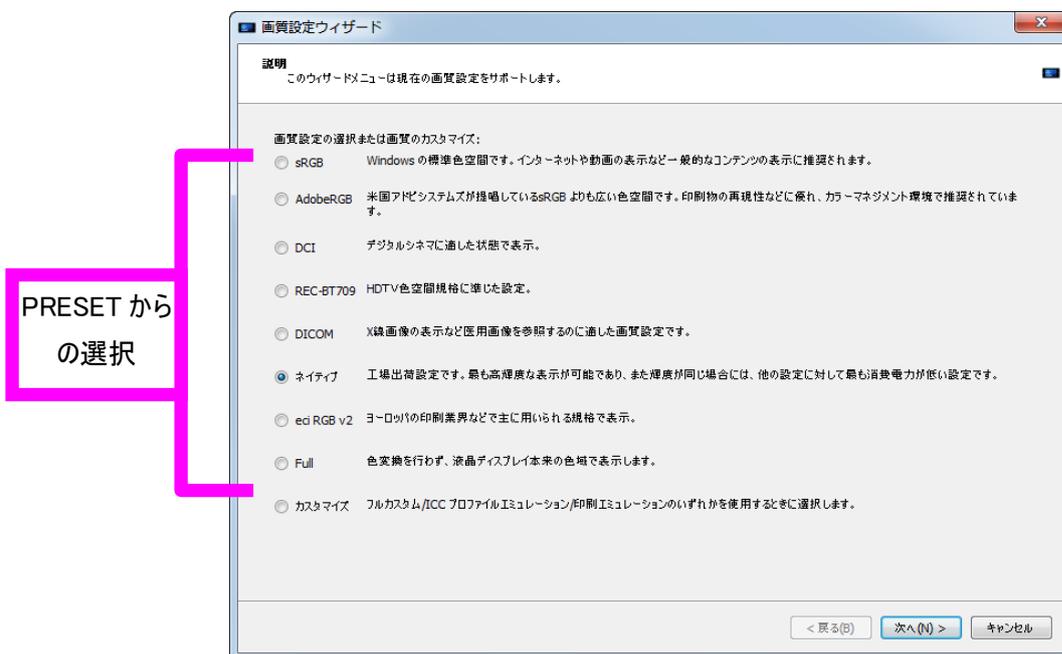
ディスプレイの画質設定を元にDisplay Control Softwareの情報を上書きします。

## 2.画質設定ウィザード

1-1.PictureModeの「8.カスタム設定ボタン」を押すと画質設定を変更することが出来ます。

### 2-1.画質設定の選択または画質のカスタマイズ

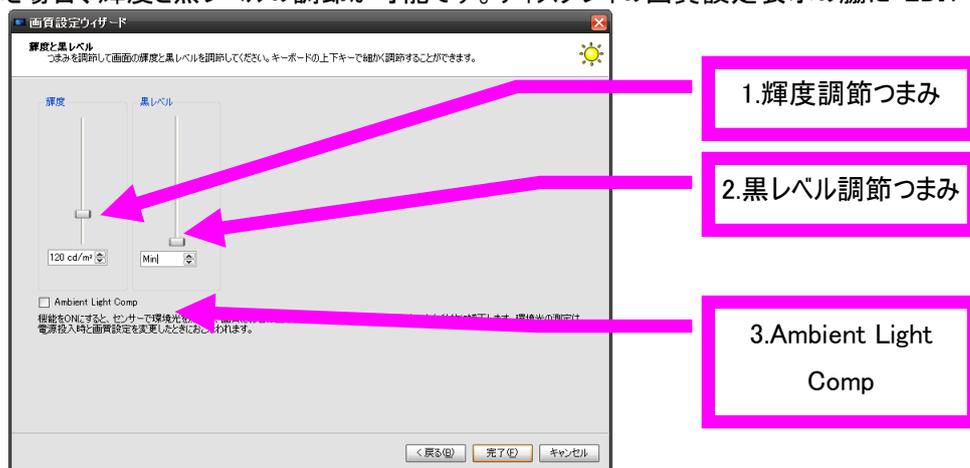
画質設定をお好みの状態に変更することが出来ます。



sRGB	PRESET からの 選択	Windows の標準色空間です。インターネットや動画の表示など一般的なコンテンツの表示に推奨されます。
Adobe®RGB		米国アドビシステムズが提唱している sRGB よりも広い色空間です。印刷物の再現性などに優れ、カラーマネジメント環境で推奨されています。
DCI		デジタルシネマに適した状態で表示
REC-Bt709		HDTV色空間規格に準じた設定
Native		工場出荷設定です。最も高輝度な表示が可能であり、また輝度が同じ場合には、他の設定に対して最も消費電力が低い設定です。
eci RGB v2		ヨーロッパの印刷業界などで主に用いられる規格で表示
FULL		色変換を行わず、液晶ディスプレイ本来の色域で表示します。 使用する場合は付属のユーティリティディスク内の ICC プロファイルをコンピューターにインストールしてください。
DICOM		X線画像の表示など医用画像を参照するのに適した画質設定です。
カスタマイズ	任意の設定	カスタマイズを行います。ICC プロファイルエミュレーションや印刷エミュレーションも設定できます。(→P12.3. カスタマイズ参照)

## 2-2.輝度と黒レベルの調節

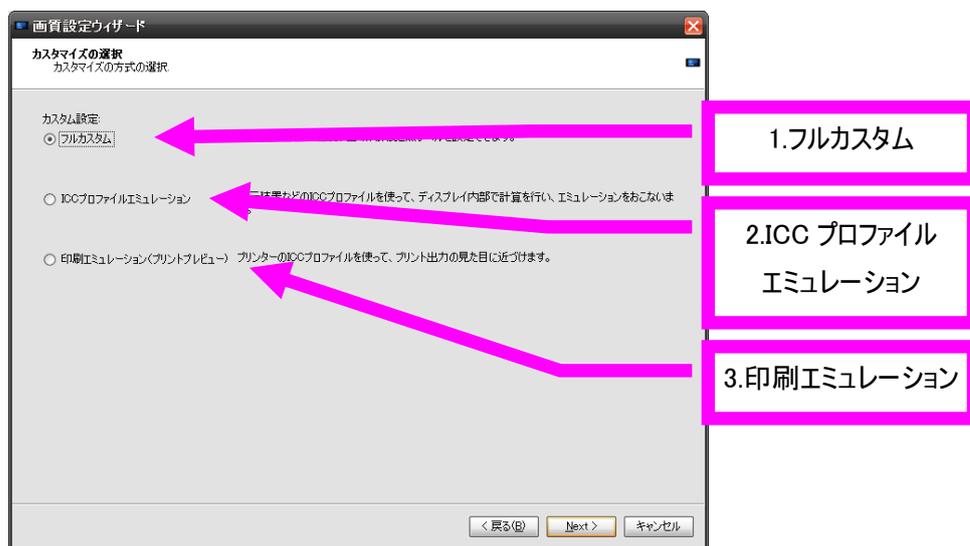
PRESET からの選択をした場合、輝度と黒レベルの調節が可能です。ディスプレイの画質設定表示の脇に”EDIT”と表示されます。



1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、画質設定や経時変化により、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。輝度を低く再設定していただくか、画質設定を変更してお使いください。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.Ambient Light Comp	機能をONにすると、センサーで環境光を測定し、画質に影響が出ないよう、低階調部の明るさと色合いを自動的に補正します。環境光の測定は電源投入時と画質設定を変更したときにおこなわれます。

## 3.カスタマイズ

3つの方法で画質をカスタマイズすることができます。



1.フルカスタム	ガンマ値、白色点温度、色域、輝度と黒レベルを設定できます。→P13
2.ICC プロファイルエミュレーション	表示装置などの ICC プロファイルを使って、ディスプレイ内部で計算を行い、エミュレーションをおこないます。→P16
3.印刷エミュレーション	プリンターの ICC プロファイルを使って、プリント出力の見た目に近づけます。→P19

### 3-1 フルカスタム

ガンマ値、色域、白色点温度、輝度と黒レベルを設定できます。

#### 3-1 フルカスタム Step1.設定の保存場所の選択



ディスプレイに保存する場所と  
名前の設定

ディスプレイ内に設定を保存するための場所  
を選択してください。名前は英数半角で13文  
字まで入力できます。作業を完了すると名前  
も含めて以前の設定に上書きされます。

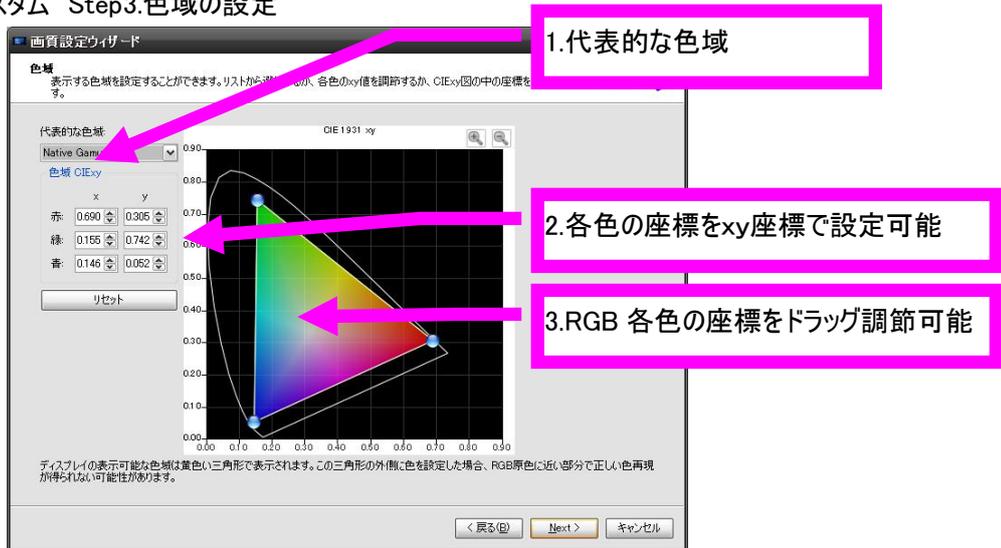
#### 3-1 フルカスタム Step2.ガンマの選択



- 1.ガンマ値
- 2.DICOM
- 3.L\*
- 4.sRGB
- 5.カスタムガンマ

1.ガンマ値	ガンマの値を 0.5 から 4.0 まで 0.1 単位で設定できます。設定が反映されないときには一旦キャンセルボタンを押してから、再度設定をおこなってください。
2.DICOM	医療業界で一般的な DICOM GSDF(Grayscale Standard Display Function)に調節します。
3.L*	L*a*b*表示系で使われる輝度特性です。
4.sRGB	sRGB 用の設定です。
5.カスタムガンマ	フルカスタムでは使用できません。

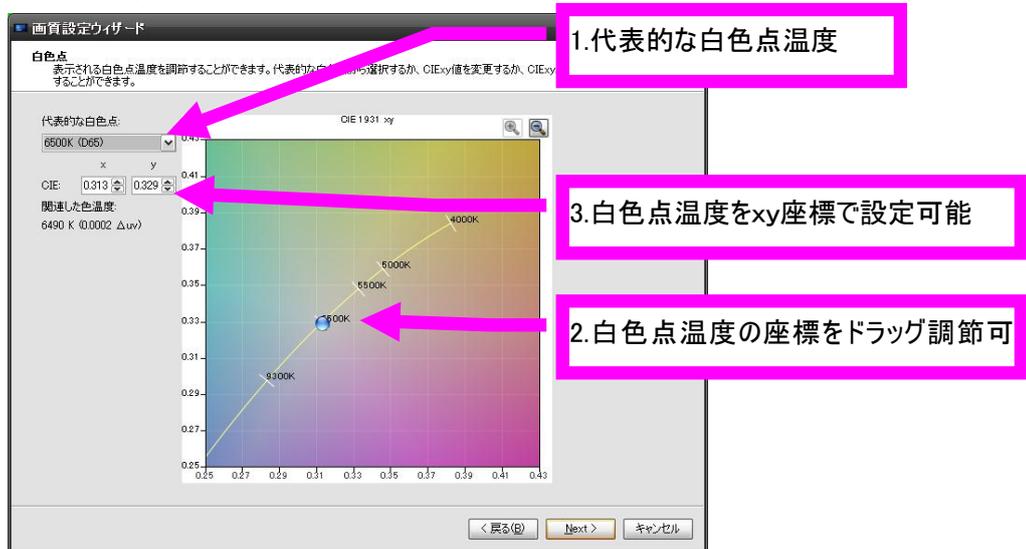
### 3-1 フルカスタム Step3.色域の設定



1.代表的な色域	Adobe® RGB ,sRGB, EBU ,SMPTE-C ,DCI ,ECI ,P22-EBU ,CRT, カスタマイズ、ネイティブ色域から選択。リセットボタンを押すと、以前に設定した状態に戻ります。
2.赤青緑 xy 値	各色の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の赤青緑各座標をドラッグ調節することができます

ディスプレイの表示可能な領域は黄色い三角形で表示されます。この三角形の外側に色を設定した場合、RGB の原色に近い部分で正しい色再現が得られない可能性があります。

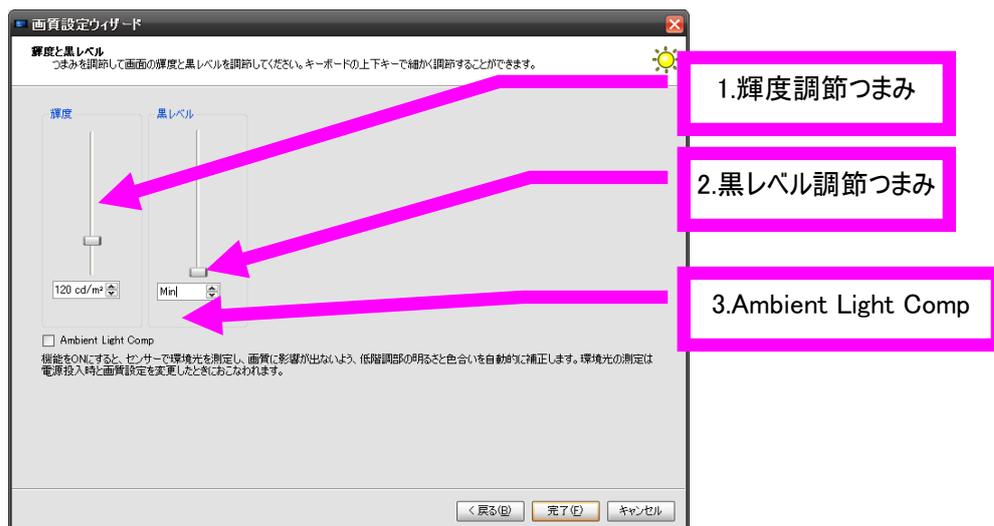
### 3-1 フルカスタム Step4.白色点温度の設定



1.代表的な白色点温度	4500K, 5000K, 5500K, 6500K, 7500K, 9300K,および A,B,C,E,各光源および DICOM Clear,DICOM Blue, DICOM Clear(Legacy),DICOM Blue(Legacy)から選択,
2.xy 値	白色点温度の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の白色点温度の座標をドラッグ調節することができます

※白色点温度で 7500K を選択した場合、DICOM Clear に設定されます。

### 3-1 フルカスタム Step5.輝度、黒レベルの設定



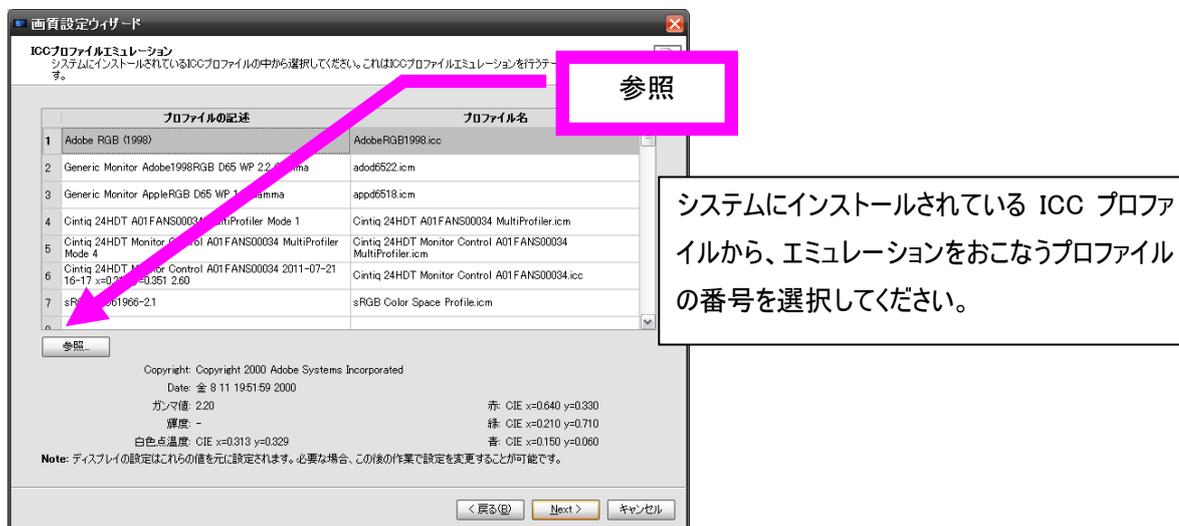
1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、画質設定や経時変化により、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。輝度を低く再設定していただくか、画質設定を変更してお使いください。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.Ambient Light Comp	機能をONにすると、センサーで環境光を測定し、画質に影響が出ないよう、低階調部の明るさと色合いを自動的に補正します。環境光の測定は電源投入時と画質設定を変更したときにおこなわれます。

これで設定は完了です。1-1.PictureMode 画面で PictureMode の選択、輝度、黒レベルの設定が反映されます。

### 3-2 ICC プロファイルエミュレーション

表示装置などの ICC プロファイルを使って、ディスプレイ内部で計算を行い、エミュレーションを行います。

#### 3-2. ICC プロファイルエミュレーション Step1. ICC プロファイルの選択



(注意)ウインドウに表示されているプロファイルは、以下のフォルダに保存されています。

Win: %WINDOWS%system32%spool%drivers%color

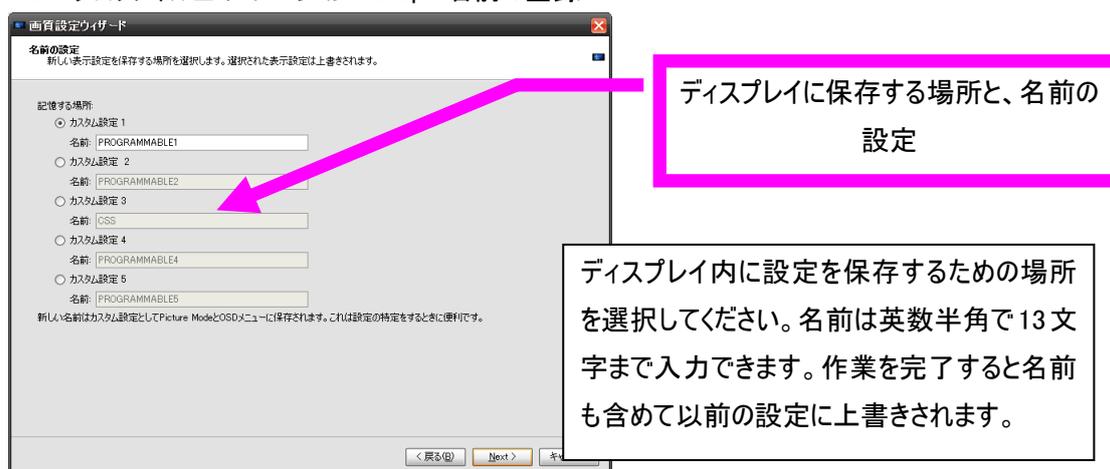
Mac: %Users% ユーザー名 "%Library%ColorSync%Profiles

表示されているプロファイル以外のプロファイルをお使いになる場合は、参照ボタンを押してからご希望のプロファイルを選択してください。なお、印刷物のプロファイルは表示されても選択できません。

ICC プロファイルをコピーする場合、管理者権限のアカウントが必要な場合があります。

ディスプレイの調節範囲外のプロファイルの場合、設定することはできません。値の右に警告が表示されます。

#### 3-2 ICC プロファイルエミュレーション Step2. 名前の登録

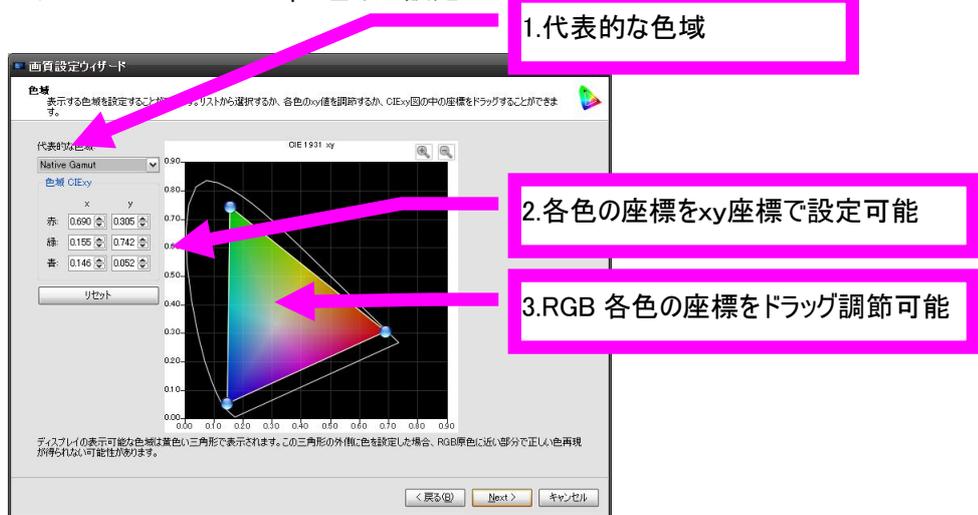


### 3-2 ICC プロファイルエミュレーション Step3.ガンマの選択



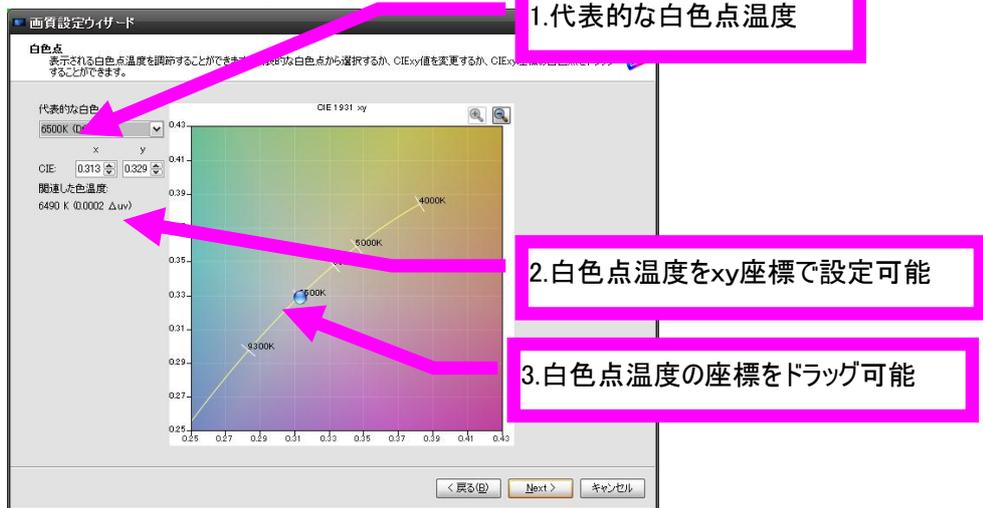
1.ガンマ値	ガンマの値を 0.5 から 4.0 まで 0.1 単位で設定できます。設定が反映されないときには一旦キャンセルボタンを押してから、再度設定をおこなってください。
2.DICOM	医療業界で一般的な DICOM GSDF(Grayscale Standard Display Function)に調節します。
3.L*	L*a*b*表示系で使われる輝度特性です。
4.sRGB	sRGB 用の設定です。
5.カスタムガンマ	プロファイルの階調特性が上記に含まれない場合、設定されます

### 3-2 ICC プロファイルエミュレーション Step4.色域の設定



1.代表的な色域	選択したプロファイルを元に色域が表示されます。リセットボタンを押すと、リセットボタンを押すと、以前に設定した状態に戻ります。
2.赤青緑 xy 値	各色の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の赤青緑各座標をドラッグ調節することができます

### 3-2 ICC プロファイルエミュレーション Step5.白色点温度の設定



1.代表的な白色点温度	4500K, 5000K, 5500K, 6500K, 7500K, 9300K,および A,B,C,E,各光源および DICOM Clear,DICOM Blue, DICOM Clear(Legacy),DICOM Blue(Legacy)から選択,
2.xy 値	白色点温度の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の白色点温度の座標をドラッグ調節することができます

※白色点温度で 7500K を選択した場合、DICOM Clear に設定されます。

### 3-2 ICC プロファイルエミュレーション Step6.輝度、黒レベルの設定



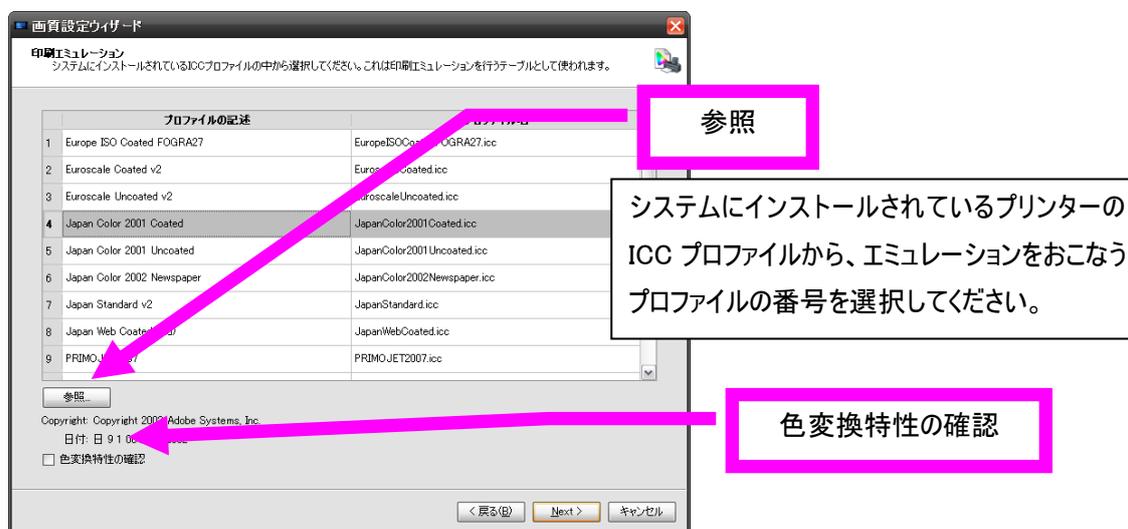
1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、画質設定や経時変化により、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。輝度を低く再設定していただくか、画質設定を変更してお使いください。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.Ambient Light Comp	機能をONにすると、センサーで環境光を測定し、画質に影響が出ないよう、低階調部の明るさと色合いを自動的に補正します。環境光の測定は電源投入時と画質設定を変更したときにおこなわれます。

これで設定は完了です。1-1.PictureMode 画面で PictureMode の選択、輝度、黒レベルの設定が反映されます。

### 3-3 印刷エミュレーション

プリンターの ICC プロファイルを使ってディスプレイ内部で計算を行い、プリント出力の見た目に近づけます。

#### 3-3 印刷エミュレーション Step1.プリンタープロファイルの選択



(注意)ウインドウに表示されているプロファイルは、以下のフォルダに保存されています。

Win: %WINDOVS%system32%spool%drivers%color

Mac: %Users%”ユーザー名“%Library%ColorSync%Profiles

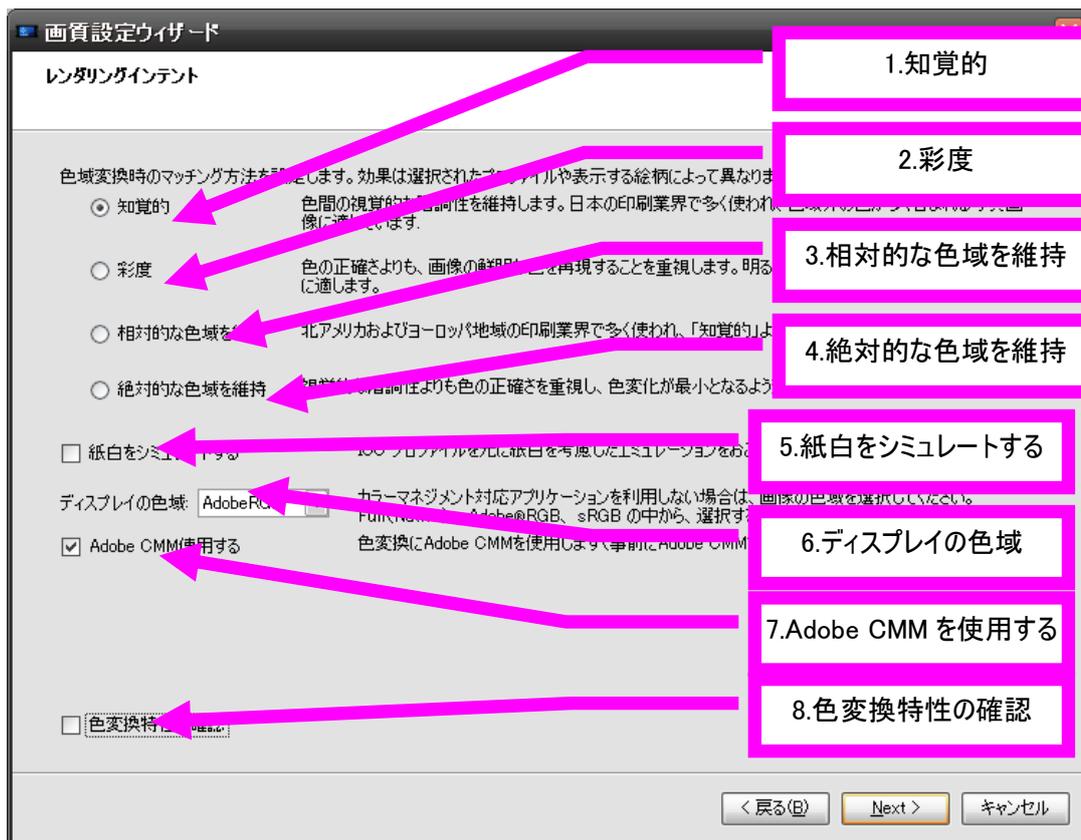
表示されているプロファイル以外のプロファイルをお使いになる場合は、参照ボタンを押してからご希望のプロファイルを選択してください。なお、印刷物以外のプロファイルの場合、正しく反映されないことがあります。

ICC プロファイルをコピーする場合、管理者権限のアカウントが必要な場合があります。

色変換特性の確認をクリックすると、

レンダリングインテント、紙白シミュレート、ディスプレイの色域の設定を反映した 3D LUT の状態を表示します。

### 3-3 印刷エミュレーション Step2.レンダリングインテントの選択



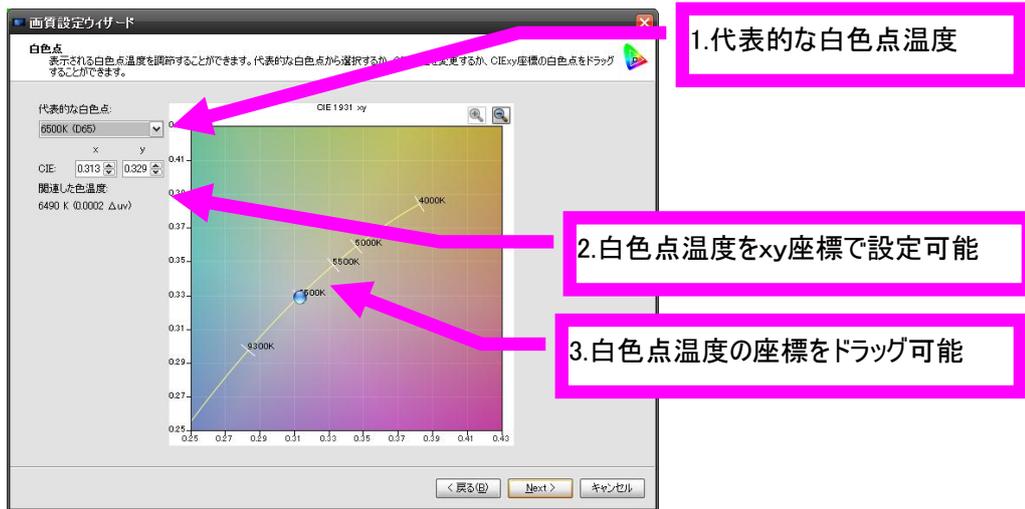
印刷エミュレーションをおこなうための設定をおこないます。

1.知覚的	色間の視覚的な階調性を維持します。日本の印刷業界で多く使われ、色域外の色が多く含まれる写真画像に適しています。
2.彩度	色の正確さよりも、画像の鮮やかな色を再現することを重視します。明るい色使いが求められるグラフや図表などに適します。
3.相対的な色域を維持	北アメリカおよびヨーロッパ地域の印刷業界で多く使われ、「知覚的」よりも多くの色を維持できます。
4.絶対的な色域を維持	視覚的な階調性よりも色の正確さを重視し、色変化が最小となるよう変換を行います。
5.紙白をシミュレートする	ICC プロファイルを元に紙白を考慮したエミュレーションをおこないます。
6.ディスプレイの色域	カラーマネジメント対応アプリケーションを利用しない場合は、画像の色域を選択してください：Full(ディスプレイ本来の色域)、Adobe®RGB、sRGB の中から、選択することができます。
7.Adobe CMM を使用する	色変換に Adobe CMM を使用します。(事前に Adobe CMM をインストールしておく必要があります)
8.色変換特性の確認	レンダリングインテント、紙白シミュレート、ディスプレイの色域の設定を反映した 3D LUT の状態を表示します。

※Adobe CMM については、以下の URL からダウンロードができます。

<http://www.adobe.com/downloads/>

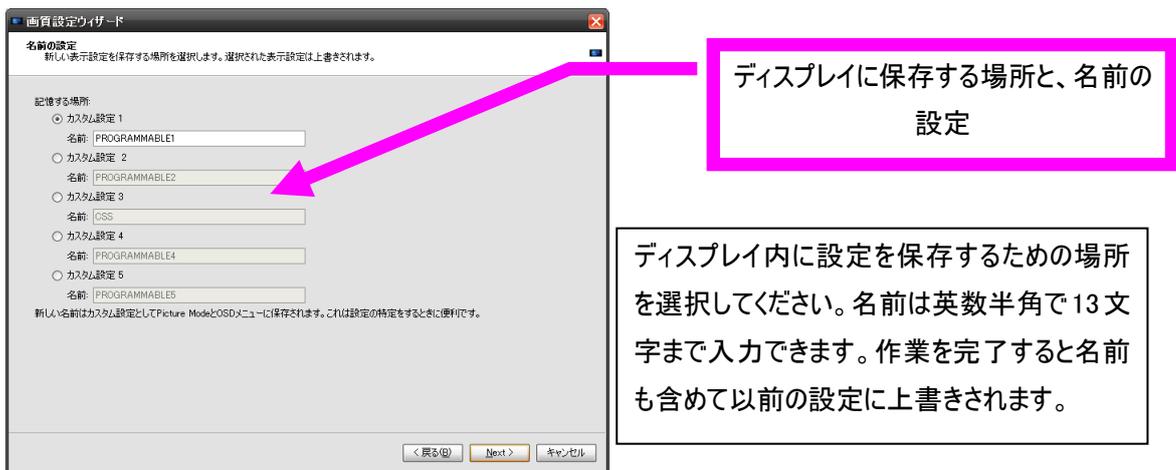
### 3-3 印刷エミュレーション Step3.白色点温度の設定



1.代表的な白色点温度	4500K, 5000K, 5500K, 6500K, 7500K, 9300K,および A,B,C,E,各光源および DICOM Clear,DICOM Blue, DICOM Clear(Legacy),DICOM Blue(Legacy)から選択,
2.xy 値	白色点温度の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の白色点温度の座標をドラッグ調節することができます

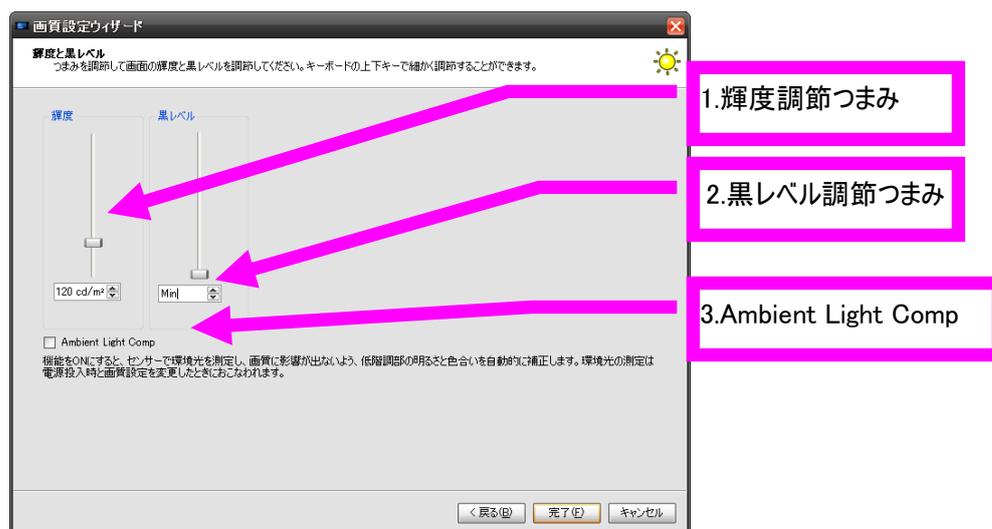
※白色点温度で 7500K を選択した場合、DICOM Clear に設定されます。

### 3-3 印刷エミュレーション Step4.名前の登録



設定した情報を保存する場所を選択します。  
 また、名前は英数半角のみで 13 文字まで登録可能です。

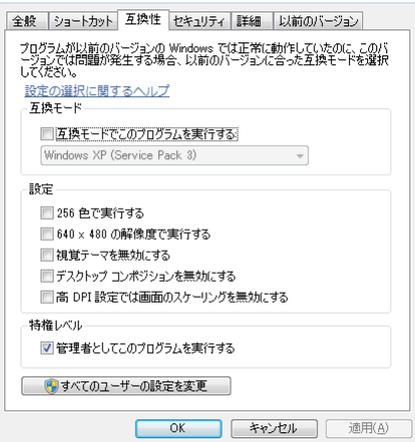
### 3-3 印刷エミュレーション Step5.輝度、黒レベルの設定



1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、画質設定や経時変化により、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。輝度を低く再設定していただくか、画質設定を変更してお使いください。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.Ambient Light Comp	機能をONにすると、センサーで環境光を測定し、画質に影響が出ないよう、低階調部の明るさと色合いを自動的に補正します。環境光の測定は電源投入時と画質設定を変更したときにおこなわれます。

これで設定は完了です。1-1.PictureMode 画面で PictureMode の選択、輝度、黒レベルの設定が反映されます。

#### 4.Display Control Software のエラーメッセージ

エラーメッセージ	説明
サポート外のディスプレイ	Display Control Software のサポートしていないディスプレイです。対応機種をご確認ください。
ICC プロファイル【プロファイル名】が更新できませんでした。現在のプロファイルがロックされているか、アクセス権に制限がかかっている可能性があります。画面のプロパティが開いていれば、閉じてください。一度既存のプロファイルを削除してください。解決しない場合には、Display Control Software.exe のプロパティを開いて互換性タブから特権レベルの変更をしてください。	<p>複数の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 画面のプロパティが開いていれば、閉じてください。</li> <li>2.既存の ICC プロファイルを削除して再度作業してください。</li> <li>2.Display Control Software のアクセス権限を変更してみてください。</li> </ol>  <p>①Display Control Software.exe を右クリックしてプロパティを選択して、互換性のタブを開いてください。</p> <p>②特権レベルの【管理者としてこのプログラムを実行する】にチェックを入れて適用ボタンを押してください。</p> <p>③Display Control Software を再度実行してください。</p>
ディスプレイプロファイルの保存中にエラーが発生しました。ICC プロファイルの保存されるデフォルトフォルダに書込許可をおこなってください。	Picture Mode の設定と OS の ICC プロファイルの設定が一致していません。ログインされているユーザーに対して ICC プロファイルの保存先フォルダの書込許可をおこなって、もう一度 Picture Mode を選択してください。
ICC プロファイルをディスプレイと関連付けることができませんでした。	Picture Mode と OS の設定が正しくできていません。一旦別の Picture Mode を選択して、もう一度ご希望の設定を選択してください。
最新版の情報を取得できませんでした	Display Control Software の最新版情報が取得できませんでした。この機能を使用される場合には、ネットワーク環境が必要です。現バージョンでは非対応です。

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

DisplayPort は Video Electronics Standards Association の商標です。

Adobe は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

Apple、Macintosh、Colorsync は Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。